2 新たな基本構想策定に向けた 論点整理



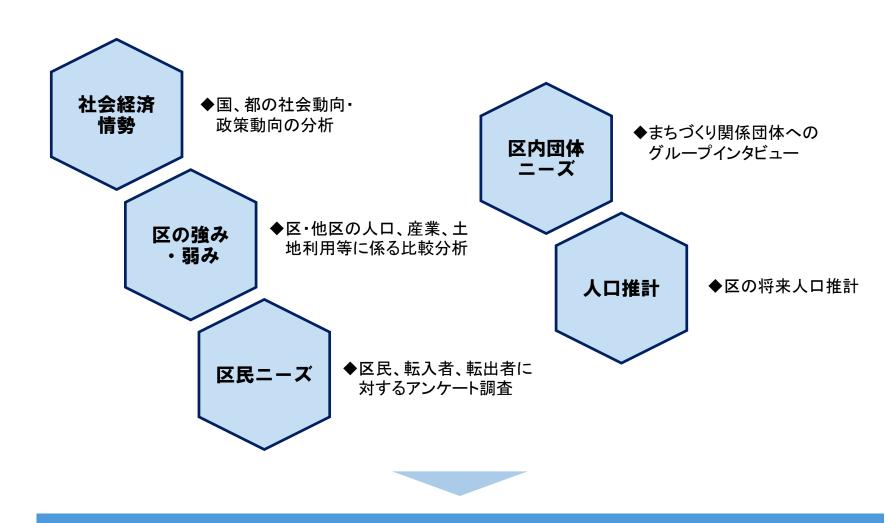
目次

新たな基本構想策定に向けた論点整理

- 1 社会経済情勢の分析
- 2 区の強み・弱みの分析(現状と課題の整理、SWOT分析)
- 3 区民ニーズ調査
- 4 区内団体調査
- 5 将来人口推計
- 6 これからの墨田区のまちづくりの論点



調査実施概要



これからの墨田区のまちづくりの論点を検討

1 社会経済情勢の分析

国・都の動向と区への影響の見込み

暮らし続けたいまち

子ども・子育て

- ✓ こども基本法の施行
- ✓ こども家庭庁の設置
- ✓ 結婚・出産・子育てにおける切れ目のない支援や教育の質の向上等へのニーズ上昇
- ✔ 総合的な子育て政策への期待

まちづくり

- ✓ 新たな住環境基本計画の閣議 決定
- ✔ 空き家や住宅ストックの増
- ✓ マンションの2つの老いの進 行
- ✓ ウォーカブルなまちづくりへ の期待

地域コミュニティ

- ✓ 町会・自治会等のDX
- ✓ 地域コミュニティ内の主体間 の連携

健康・福祉

✓ 誰一人取り残さないインクルーシブな地域共生社会の実現への期待

防災・防犯

- ✓ 災害対応に係るDX
- ✔ 誰一人取り残さない避難対策
- ✓ 災害に強くしなやかなまちづくり
- ✓ 特殊詐欺やSNS関連犯罪への対 応
- ✓ 子どもに対する犯罪被害予防

国・都の動向と区への影響の見込み

Ш

働き続けたいまち

産業

- ✓ スタートアップ支援の加速化
- ✔ 中小企業の事業承継の円滑化
- ✓ アフターコロナの働き方改革

共生社会

- ✓ 女性活躍
- ✔ 仕事と生活の両立の推進
- ✓ 外国人の増加を見込んだ共生社会の 実現
- ✔ 性の多様性の尊重

訪れたいたいまち

文化・歴史

- ✓ 無形文化財を含む文化財の保護
- ✓ 文化施設の事業領域の拡大
- ✓ 想像的で多様な文化芸術活動が実施 される社会の実現

観光

- ✓ 持続的な観光地域づくりのための人 材育成
- ✓ DX等による利便性・生産性向上
- ✔ インバウンドの復活
- ✔ 緑地・河川空間の有効活用

1 社会経済情勢の分析

国・都の動向と区への影響の見込み

分野横断的な動向

人口

- ✔ 少子高齢化への対応
- ✔ 人口減少への対応

資源・エネルギー

- ✓ カーボンニュートラルや ESG投資への対応
- ✓ シェアリングエコノミーの 社会的な意識の高まり

デジタル化

✓ DX・Society5.0・生成AI 等の新技術の地域産業・行 政への活用

スポーツ振興

✓ 東京2020オリンピック・ パラリンピックの開催を契 機とした共生社会や地域活 性化、健康づくり、生きが いの創出

暮らし続けたいまち

切れ目ない子育て支援・環境の充実

◆内的要因・外的要因の整理

	Positive	Negative
	強み (S)	弱み (W)
内的要因	婚姻数が多い・出生率が高い保育所数が多い公共賃貸住宅戸数が多い	・ 年少人口比率が低い ・ 小学校数、中学校数が少ない (※)
	機会 (O)	脅威(T)
外的要因	子ども政策の充実政策への子どもの意見反映の必要性地域連携による教育の充実元気な高齢者の増加(健康寿命の延伸)千葉大学、情報経営イノベーション専門職大学誘致による効果	・ 全国的な出生数減少の加速化 ・ 困難を抱える子ども・若者の増加 ・ 地域コミュニティの活力低下

◆今後の区の施策のあり方

強み×機会

子どもの育成環境の充実

結婚から学校教育まで切
れ目のない子育て支援や
地域資源の活用等による

弱み×脅威

地域コミュニティとの連携による学校教育の充実 や地域コミュニティの活動体制や基盤の強化

強み×脅威

シティプロモーションの 強化や地域における子育 て環境の充実による子育 て世帯の定住と転入の促 進

弱み×機会

区政への子どもや子育て 当事者等の意見の反映に よる子育て世帯の転入促 進

暮らし続けたいまち

地域力日本一の住んでよかったまちづくり

◆内的要因・外的要因の整理

	Positive	Negative
	強み(S)	弱み (W)
内的要因	転入超過率が高い公共賃貸住宅戸数が多い	・ 公園面積が小さい ・ 悪性新生物、心疾患による死亡率が高い ・ 建物倒壊、火災とも災害危険度が高い ・ 学術研究・専門・技術サービス業事業所数が少ない
	機会 (O)	脅威(T)
外的要因	 子ども政策の充実 政策への子どもの意見反映の必要性 地域連携による教育の充実 地域共生社会の取組みへの支援 元気な高齢者の増加(健康寿命の延伸) ウォーカブルなまちづくりへの支援 事前対策による災害被害抑制 千葉大学、情報経営イノベーション専門職大学誘致による効果 	・ 全国的な高齢化の急速な進展 ・ 地域コミュニティの活力低下 ・ 自然災害の激甚化、頻発化

強ユ× 多団

◆今後の区の施策のあり方

コンメ (単合

150个人版五	初かへ自成	140アヘ 月 成
子育て世帯をターゲット とした移住・定住の促進 や、高齢者が住み続けら れる地域づくりの推進	高齢者の健康づくりの促進・支援の充実、地域に おける共助による災害時 要支援者への対策の強化	魅力ある生活環境整備による転入者の定住促進さ 公共賃貸住宅の活用による住宅確保要配慮者対策 の充実

弱み×姦団

弱み×機会

ウォーカブルなまちづく りや災害に強いまちづく りの推進、大学等の連携 による地域経済・産業の 発展、高度化の促進

働きつづけたいまち

◆内的要因・外的要因の整理

	Positive	Negative
	強み (S)	弱み (W)
内的要因	事業所数が多い製造業事業所・従業者数が多い卸売業・小売業事業所数が多い宿泊業・飲食サービス業事業所数・従業者数が多い	・ 情報通信業事業所数・従業者数が少ない・ 学術研究・専門・技術サービス業事業所数・従業者数が少ない
	機会 (0)	脅威(T)
外的要因	 スタートアップ支援策の拡充(墨田区産業共創施設「SUMIDA INNOVATION CORE」の開業等) Society5.0 を実現するデジタルテクノロジーへの期待 DX・GXへの政策的支援の拡大 男女ともに対等な立場で活躍できる社会の進展 千葉大学墨田キャンパス、情報経営イノベーション専門職大学の誘致による効果 	・ 全国的な高齢化の急速な進展と生産年齢人口の減少 ・ 国際情勢や自然災害、感染症など、多様なリスクの顕在化

◆今後の区の施策のあり方

強み×機会

多様な創業形態や事業 ステージに応じたス タートアップ支援の充 実や女性起業家の支援

弱み×脅威

企業内部での人材育 成・能力開発の支援に よる中小企業の経営基 盤強化や新分野進出等 の促進

強み×脅威

中小企業を対象とした DX推進や生産性向上 の支援、商店街の店舗 施設を活用した創業支 援の充実

弱み×機会

大学や地域など多様な 主体との連携による、 持続的なイノベーショ ンモデルの構築

区の強み・弱みの分析(現状と課題の整理、SWOT分析)

訪れたいまち

◆内的要因・外的要因の整理

	Positive	Negative
	強み (S)	弱み (W)
内的要因	・ 製造業事業所数・従業者数が多い ・ 卸売・小売事業所数が多い ・ 宿泊業・飲食サービス事業所数・従業者数が多い ・ 商業地区の土地利用面積割合が高い ・ 近隣商業地域、商業地域の用途地域面積割合が高い	・ 外国人人口が少ない ・ 昼間人口が少ない ・ 公園面積が小さい ・ 図書館数・面積・蔵書数・貸出数が少ない
	機会 (0)	脅威(T)
外的要因	 円安傾向・ポストコロナによるインバウンドへの期待 大阪・関西万博の開催 都市公園や河川占用の運用の多角化 ウォーカブルなまちづくりへの規制緩和やオープンスペース整備の活発化 博物館事業や文化財保護の領域拡大 	・ 芸能・民族風習・工芸技術等の継承者・後継者不足 ・ 地域のつながりの希薄化 ・ 激甚化する地震・水害等の自然災害

◆今後の区の施策のあり方

強み×機会	弱み×賀風
インバウンド向けの商業 環境の充実・回遊性の高 い都市歩行空間の充実	外国人観光客向けの災害対策の強化・昼間市民等を交えた市民活動の活発 を交えた市民活動の活発 化等による関係人口との 関係性の強化

強み×脅威

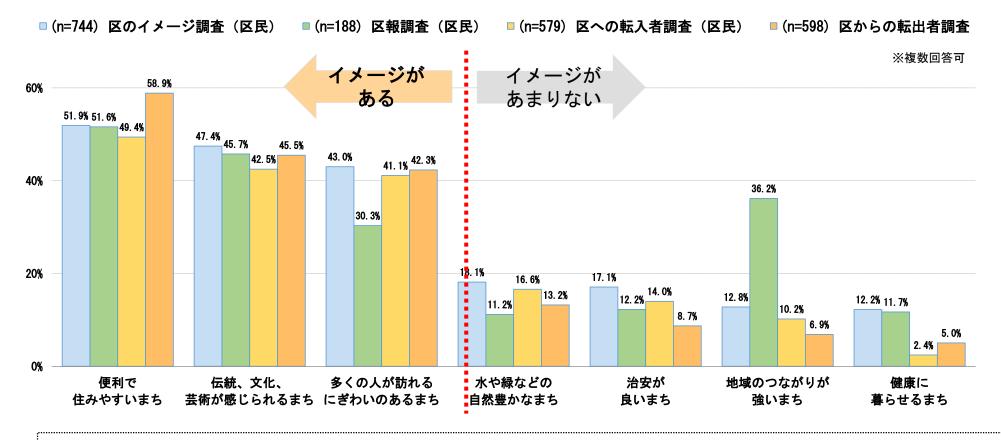
した人材育成、後継者や 継承者の発掘・商業施設 や商店街と連携した防災∥の連携による社会教育の 力の強化

弱み×機会

ものづくりのまちを活か大阪・関西万博を見据え た外国人受け入れ態勢の 充実・博物館・図書館と 更なる充実

3. 区民ニーズ調査

・ 現在の区へのイメージ



補足

「区のイメージ調査」: 満18歳以上区民3,000名無作為抽出、郵送配布、郵送・インターネット併用回収(R5.8~R5.9実施、有効回答数744名、回収率24.8%)

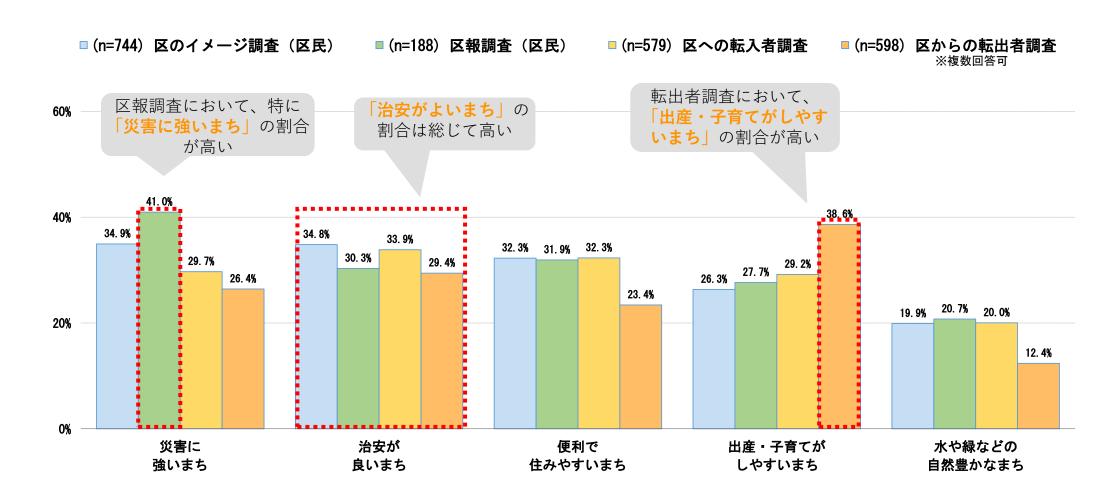
「区報調査」: インターネット調査(R5.9.11~R5.9.30実施、区報「すみだ」、区ウェブサイト、SNS(facebook、X(旧twitter))より回答募集)

区への「転入者調査」: R4.6~R5.6の期間における区への転入者2,000名無作為抽出、郵送配布、郵送・インターネット併用回収(R5.8~R5.9実施、有効回答数395名、回収率29.0%)

区からの「転出者調査」: R4.6~R5.6の期間における区への転入者2,000名無作為抽出、郵送配布、郵送・インターネット併用回収(R5.8~R5.9実施、有効回答数387名、回収率29.9%)

3. 区民ニーズ調査

・ 今後区へ期待するイメージ(上位5項目)



3. 区民ニーズ調査

・ 区に満足している点

本編 P 40,48,54,59

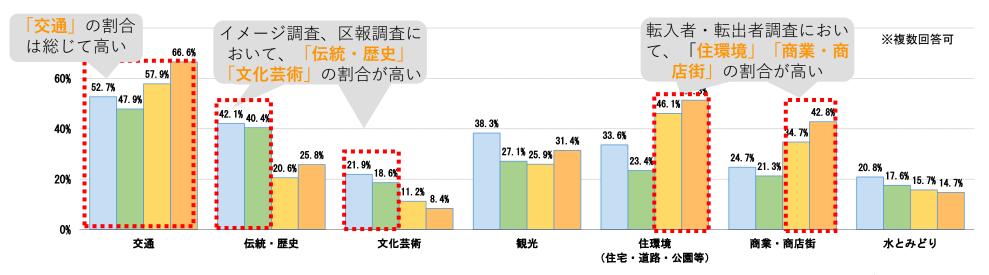
□(n=744) 区のイメージ調査(区民)

■(n=188) 区報調査(区民)

■(n=188) 区報調査(区民)

■ (n=579) 区への転入者調査 ■ (n=598) 区からの転出者調査

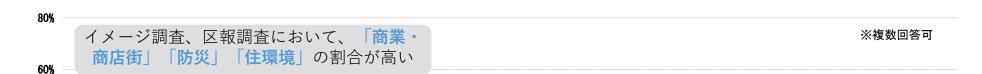
■(n=579) 区への転入者調査 ■(n=598) 区からの転出者調査

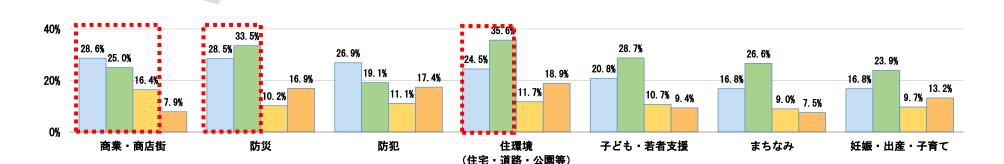


区に不満がある点

□(n=744) 区のイメージ調査(区民)

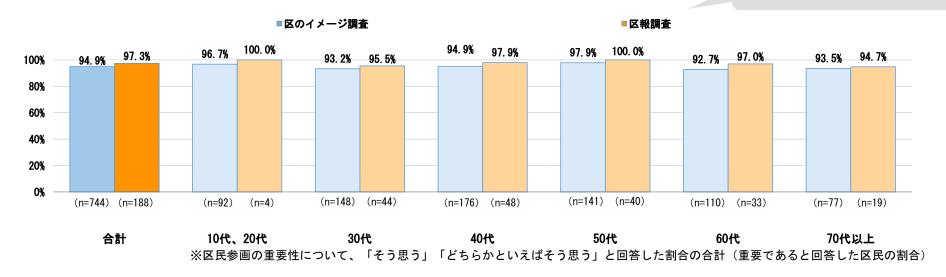
本編 P 41,49,55,60





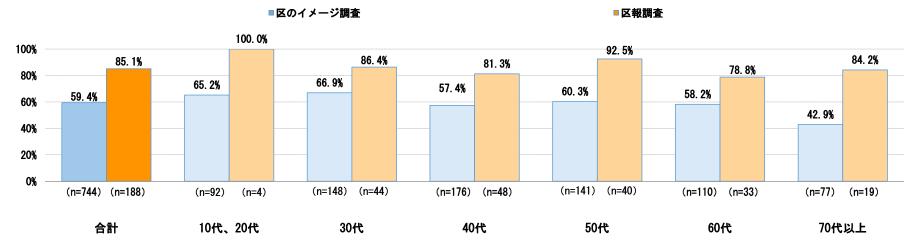
・ 地域課題の解決やまちづくりへの区民参画の重要性

地域課題の解決やまちづくりへの区民参画の重要性は高いと認識されている

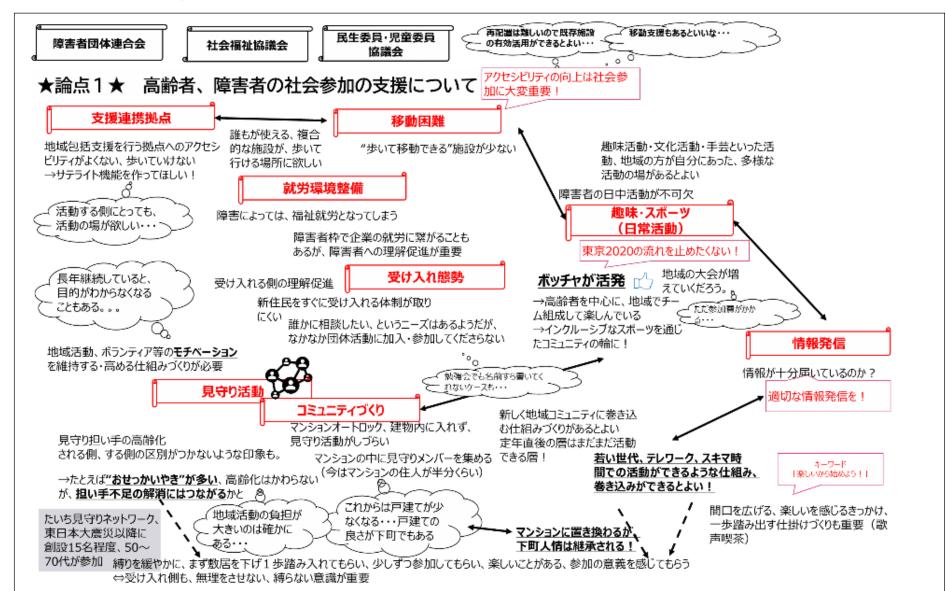


地域課題の解決やまちづくりへの区民参画への参加意向

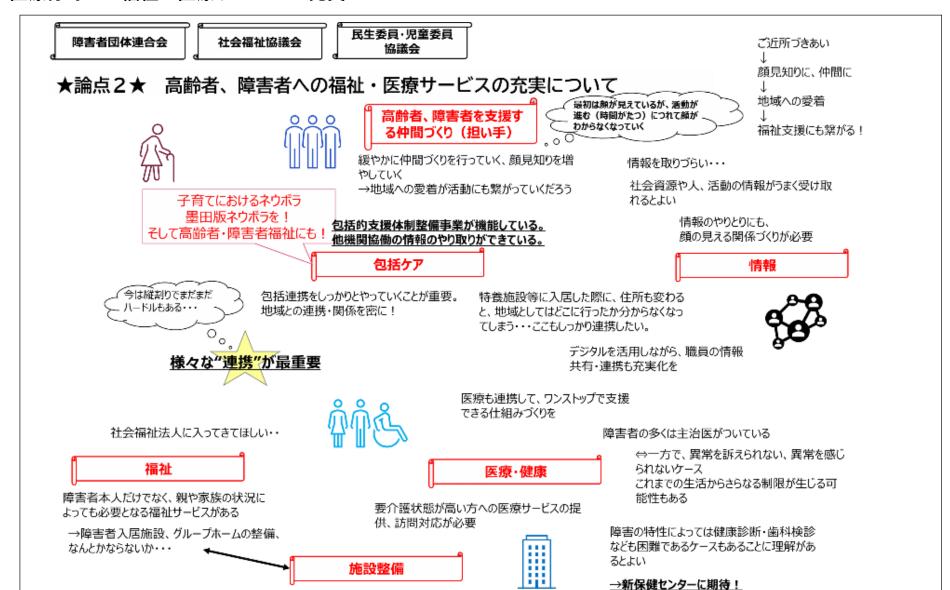
一定の参加意向がうかがえる



• 福祉・医療分野 ~高齢者、障害者の社会参加の支援~



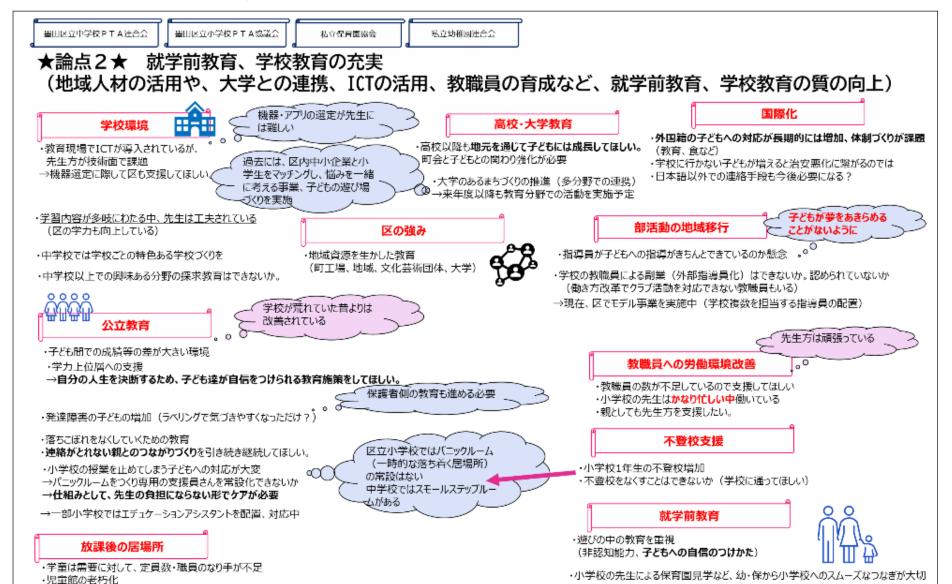
・ 福祉・医療分野 ~福祉・医療サービスの充実~



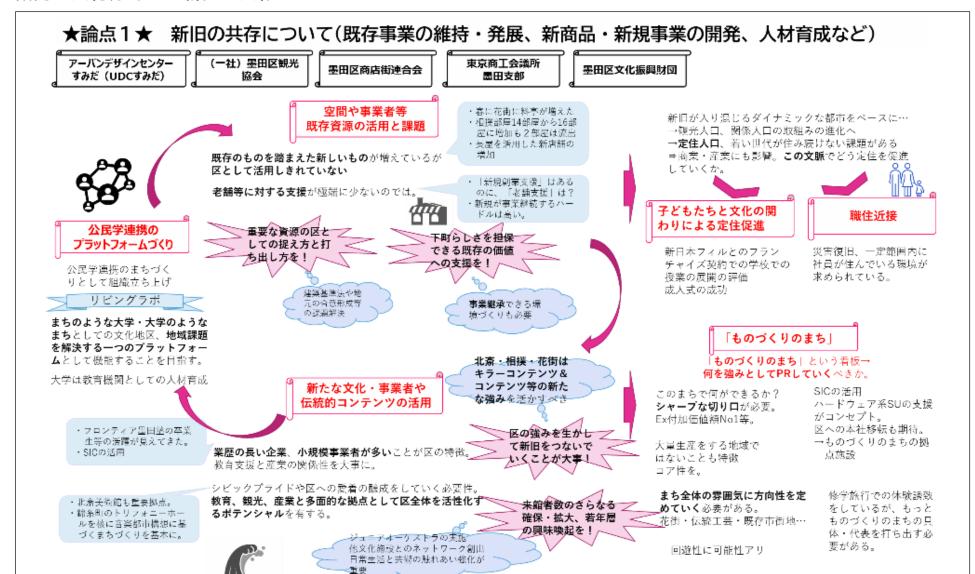
・ 子ども・子育て分野 〜出産・育児環境の充実〜

私立幼稚園連合会 私立保育園協会 墨田区立小学校PTA協議会 墨田区立中学校PTA連合会 ★論点1★ 出産・育児環境の充実 (出産・子育ての不安や悩みを和らげる支援の仕組みづくり、保育や医療、見守りなど 仕事をしていなくても他の子ども 子どもを産み・育てやすい地域の環境づくり など) の行事や体調不良などの事情 . 0 0 幼稚園・保育園前の支援 現に困ってる人が相談に行くの は敷居が高いことも 子育で補助の格差 ・明石市発祥の、支援員によるおむつ届け・悩み相談サービスは、 ・母親が仕事をしていない家庭では、預かり保育、ファミリーサポートの補助が出ない 多くの幼稚園長が評価 幼稚園に通う方の認定種別で支援の利用時の補助金有無が異なる。 →子育て初期の悩みについて、世間話しながら打ち明けられることは楽になる。 →どの家庭でも補助ができるようにしてほしい ・入園前の家庭へのサポート・仕組みをより充実してほしい(押しかけるような) 親と子どもは違う個性なんだという 意識を持つように 重要者 PTAなどで他の子どもの成長も横 親の成長 でみることで分かることも ・悩みながら、地域の中で支えられながら、親も子どもと一緒に親として成長していく 延長保育 ・1人目の子どもの時は調べること、悩むことも多い 子育て中は、悩みがつきることはない 子育て政策 ・在宅勤務の増加で、需要が減っている。 →その悩みが話せる場所、みんなで集まる機会が必要 (コロナ禍後の課題) ・墨田区の子育て世帯(共働きが多い)にあった政策の推進が必要・ 区内の地域ごとに適正な配置が必要 待機児童の解消から質の向上へ 子育で事業が多い点は区の強み ・待機児童はほぼ解消できた、次の課題、保育の質を向上 →今後は、隠れたニーズも含めて本当に必要な方に支援を届けることが必要 施設によっては定員割れが発生 DXも使用できるように →保育の資源(資源・人材・施設)について適正配分が必要に ファミリー向け住宅 →近隣施設間での連携、可能性の活用 施設の業務に含まれない周辺への支援も必要に) 一定の支援が必要な子どもへの支援、職員の方への教育も充実してほしい。 →保育園としても支援が必要な子どもが増えているような肌感覚。 ・子育て世帯向けマンションがない、価格が高いことによる転出が多い →支援員の方から保育園へのアドバイスがあるとよい(職員の子ども対応が改善) 了育て世帯の相談にのるなど 出産支援 ・療育の充実・拡大が必要(区内の機関はキャバシティ不足) ・出産時、その直後の育児の一番大変な時期に、 **働けなくなること**への支援を充実してほしい 病児保育 公園 安価に家庭内に来て保育してくれる墨田区のサービスは、民間サービスと比較してもよい。 墨田区公園マスタープランをR5年度に改定 病院が区内(南地区)に多いことは安心につながった。 ・公園は子どもの遊び場、探究の場であり、子育て上重要 墨田区公園が美化されたのはよい

・ 子ども・子育て分野 ~就学前教育、学校教育の充実~



・ 産業・観光・文化分野 〜新旧の共存〜



・ 産業・観光・文化分野 ~にぎわいの創出~

★論点2★ にぎわいの創出について(歩いて楽しめる街並みや魅力ある商業・サービス、交流の拠点と なる環境の整備、担い手の育成支援など)

アーバンデザインセンター すみだ (UDCすみだ)

(一社)墨田区観光 協会

墨田区商店街連合会

東京商工会議所 墨田支部

墨田区文化振興財団

すみだらしい価値・特徴の見える空間づくり (エリアの特徴の顕在化や親水空間の形成)

ソフトとハードの バランスの課題

観光振興の必要性や文化資源の価値を 地域で再認識・再定義化

区民や子ども等。 内発的に文化資源 の再認識を!

「観光のまち」外国人も多くみられ る。どう受け入れていくか。 もてなしていくか。共存していくか。

川で囲われた区という都市構造だが、 川に背を向けたまちなみ。

ミズマチへの来訪、回遊。 墨田区花火大会・花火資料館は唯一 無二だが、景観等への十分な設備投 資がされていない。

担い手や人材の

発掘にも影響

ものづくりのまちの特徴も町並みに 顋在化するとよい。

親水空間を活かした

まちづくりの再考!

花街がある町。ソフト面の施策は 色々進めてきた。ハード面、街並み **としての取組み**が少ない。

> で特徴・個性を顕在 化上

- ハード面のサボート

く必要がある。

観光を盛り上げることで区民にとっ

てどのような良いことがあるのかを

敷居の高い分野の壁を乗り越えてい

強いコンテンツと地域のつながりの再考

墨田区は知らないけど一地域との連携を! スカイツリー、アサビ

観光の価値と必要性、

区内の内発的な魅力理解も必要。 教育や体験コンテンツを通じて、文 化への誇り等も醸成していく。 区民意見を取り入れた事業展開。

外部に魅力が伝わっている一方で、

観光を盛り上げると何が変わるのか。 可能性のあるコンテンツの整理が必要。 小さい工場を少人数で回るとか、墨田区 ならではのものづくり×観光の取組方 8号線の延伸による課題も。

もったいないと思う ものがたくさんあ

北斎、花街 小さい博物 【なぜ観光に力を入れるのかを説明する必要性】

【共有する認識から方向性を導く必要性】

花街:公共空間からデザイン して全体の雰囲気を誘導して いく、各エリアならではの進 め方は異なる。

→収益確保のために町全体が 装置として機能していく

> 教育や福祉、シビッ クプライドにも波及

目的地までの街の雰囲気 の創出が必要(施設内に 留まらない来街者への利 便性・快適性向上)

物理的行きにくさ 周遊性・回遊性を担 保する交通手段や伝 え方を考える

道路の不便さ 観光バス入れない。 公共交通のアクセス不良。 歩いて楽しい まち・滞在時 間の魅力化

両国の相撲の街

とわかる雰囲気

北流美術館は観光 まちあるきの拠点

ビール、相撲はわかる

どう歩かせたい? 点と点の移動ではなく、

ルート設計が必要

安全で快適な歩行空 間⇒誰にとっても優 しいまちなみ

施設内での事業内容の魅 力化と内外へのアピール。

訪問先として選んでもら える具体的な仕組みづく り。情報発信、売買ス キーム等

何故観光に力を入れるの か、合意の取り方 区民へのメリットを伝え て協力を得ていく。

シビックプライドの創出も重要。 キラーコンテンツへの魅力の理 **解。自慢したくなるように。**

交流人口が増えるだけは是ではない ターゲットを見据えた訴求も必要 ←投入の成果を。

- 防災・まちづくり・環境 - ~災害に強い地域社会づくり~

災害時に水が足り 防災士ネットワーク 耐震化推進 防災活動拠点会議・ 雨水市民の会 協議会 ない、能登地震で 協議会 住民防災組織 も明らか! 水をためる→下水道料金を下 げるインセンティブになれば進む 区民の意識を高 ★論点1★ 災害に強い地域社会づくり(主にソフト対策) める! 墨田区が区として貯めた分の 助け合いが重要、助 新住民への対策を 集合住宅へ 補助できないか け合いのコミュニティを 雨水の有効活用を 常に掲示を! 地域コミュニティを育て 守っていくことが必要 地域コミュニティの強化 る意識を 雨水をためている場所が大型施設等で 雨水は飲めることを広めたい あるが、戸別にためる自助、 ─災害時の生きる力になる 地域のコミュニティが強い地域である 町会の発信力は最近少し弱くなってきたか 地域でためる共助も必要 定期的な水質検査はいざというときの安 新住民と既存住民の知識の格差がある 貯水が27,000t近い 心感につながる。 過去、町工場の経営者が町会の役 自分の近くに貯水槽があることを知らな 既存住民の経験・知識は豊富だが・・・ 員を担い、コミュニティが活発であった 生活用水も「ためる」ことを浸透させたい い方も多い ←バブル以降は廃業等に伴い開発・ 風呂の水が溜まっていれば1週間はもつ 共助 使わないとあることを忘れている 新住民、コミュニティの状況が変わって 簡易ろ過で飲める いざというときのコミュニティ・ネットワーク →雨庭づくりにより見える化している きている。 町会という基盤が重要だが、、、 雨水がすぐに実際にどれくらい まず水の確保 昼間・夜間の多様な滞留者に合わせ 役員の高齢化・担い手不足により 稼働できるのかは調査中 ローリングストックの実践を た対策が必要だろう 災害被害拡大への危惧 井戸水を地下タンクにためてい その上で非常食の確保も るところ (ポケットパーク) もあ イザ! カエルキャラバン! ←子ども向けだが、保護者との交流も 自助意識の普及・啓発を イベントを通じた新住民との交流 自助 自然発生的にリーダーがいるが、 リーダーを事前に育てることも必要では 自助が最も重要 訓練 '避難できれば大 災害時の非常時バッグを"持ち出せるか"という視点が抜けている ←一言会 ではそうした人がいる 丈夫"と思っている 節がないか・・・ 今は在宅避難、しっかり伝えていく必要がある 様々な住民に参加してほしいところだが、 3日間(72時間)は自ら生き抜く意識を ライフスタイルも多様で、難しいところ まだまだ備蓄への意識は 参加者の高齢化・固定化が問題 避難所対策 足りない印象・・・ 実際にどれくらい確保し マンネリ化して生きているところもあるが、 新住民が多い、避難所パンクしそう・・・ ているのかは・・・ 昼夜での防災訓練は必要である 災害時の情報取得 避難所、単純に不自由もあるが、何より足り ない・・・避難行動を取ったのに避難ができな デジタルサイネージを使った情報収集・発 いという状況もありうる

受入れ可能人数が足

りていない!

ホテルや民間施設との協定は?

←エアビーと協定、民泊施設への避難協定を締結

信が必要ではないか

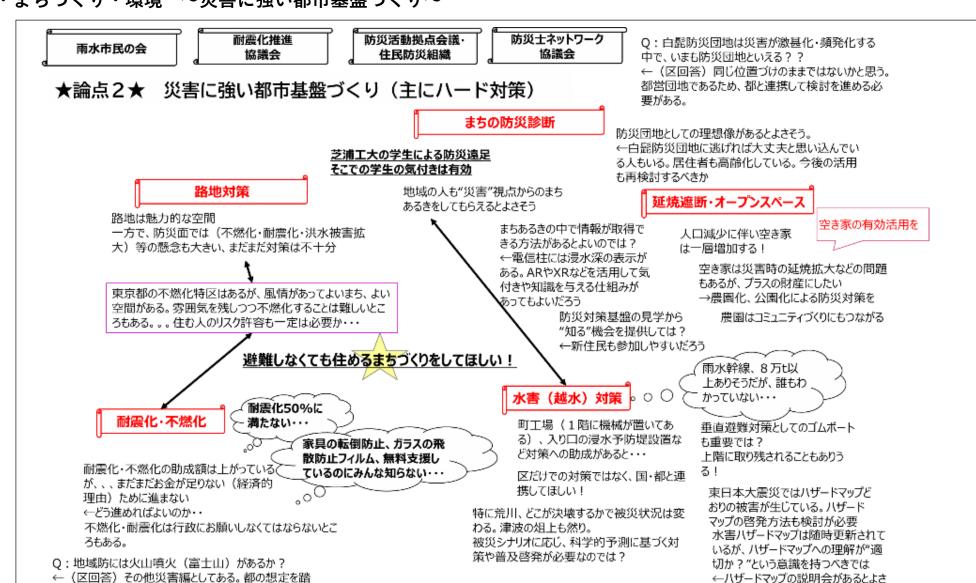
要な情報の事前精査を。

←サイネージの適切な設置・(配置)必

19

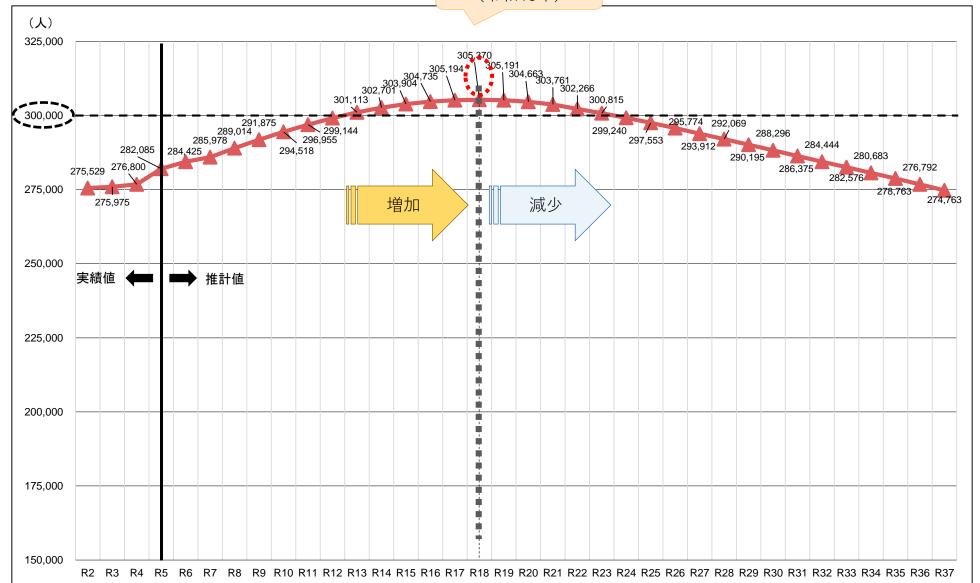
• 防災・まちづくり・環境 ~災害に強い都市基盤づくり~

まえて記載を練り込んでいく必要があると考えている



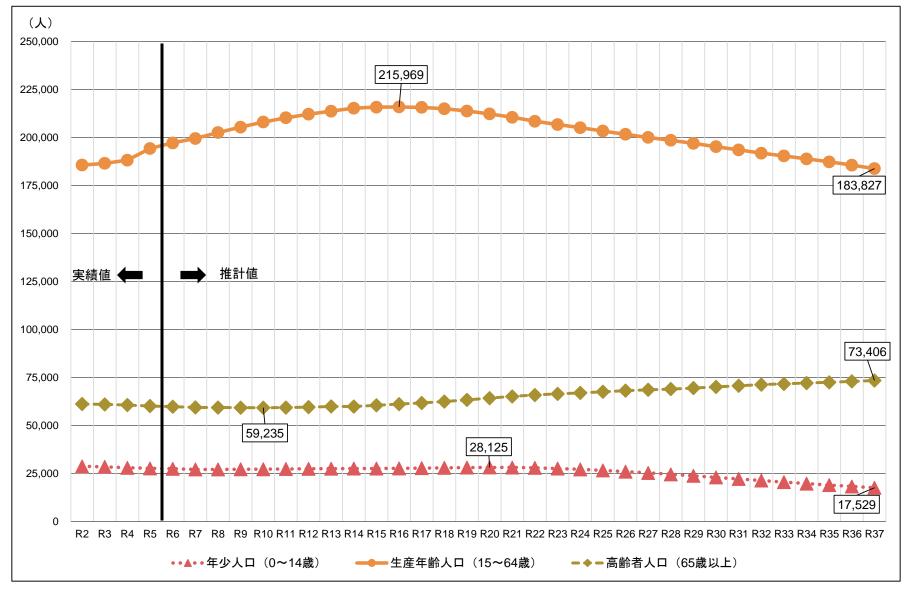
・ 総人口の推移

ピーク:305.370人 (令和18年)



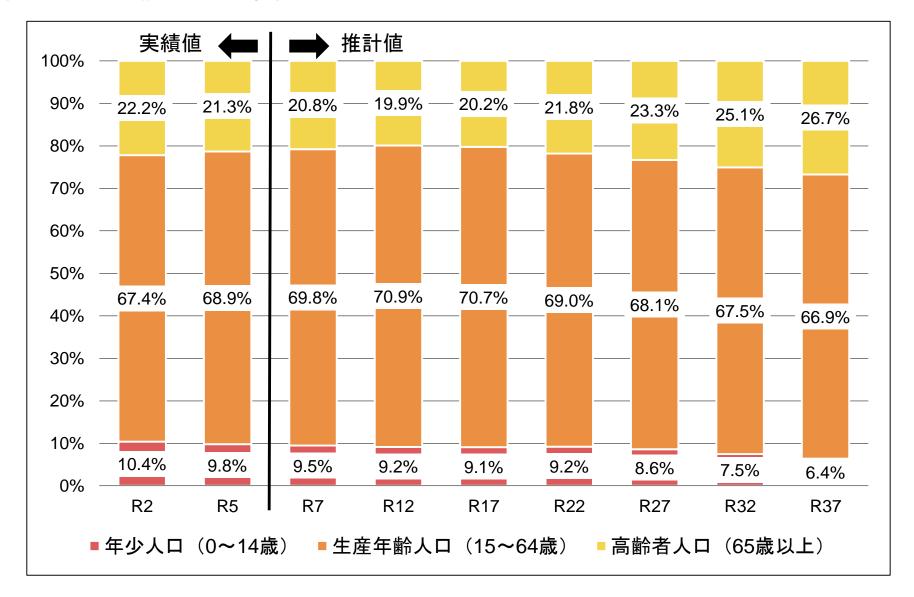
5 将来人口推計

・年齢3区分別人口の推移



5 人口推計

・年齢3区分別人口構成比の推移



社会経済情勢

- ✓ 子ども政策の推進が重要である。
- ✓ あらゆる分野におけるDXの推進が求められる。
- ✓ 超高齢化、人口構造の変化に伴う影響の 考慮とインクルーシブ社会の推進が必要 である。
- ✓ スタートアップ支援の加速化、中小企業 の事業承継の円滑化、働き方改革が重要 課題となっている。



- ✓ 子どもを産み・育てやすく、居住地として選ばれるための子育て支援施策の充実が必要である。
- ✓ 盛んな製造業、卸売業・小売業を強みと しつつ、担い手不足や事業継承の課題解 決に向けた取組が求められる。
- ✓ 災害に対する脆弱性の解消が必要である。



- ✓ 交通や伝統・文化、観光などに満足して いる一方で、防災や住環境、商業機能に 対しては不満傾向があり、これを解消す る必要がある。
- ✓ まちづくり等への区民参画の重要性は高いと認識、、参加意向が一定あることから、区民が参画しやすい機会の創出が望ましい。



- ✓ 子ども・子育て分野では、出産・育児環境の充実、相談体制の強化、教育のICT化、教職員の働き方改革が重要である。
- ✓ 福祉・医療分野では、連携拠点のアクセス性、障害者の就労環境整備、地域包括ケア体制の充実が求められる。
- ✓ 産業・観光分野ではものづくりのまちとしての強みの整理や、区の魅力としてあらゆる資源の活用が必要である。
- ✓ 防災・まちづくり分野では、不燃化・耐震化の促進、浸水対策強化などの都市基盤整備などの推進が求められる。
- ✔ 各分野に共通して、人口減少、少子高齢 化社会における様々分野におけるコミュニティづくりが挙げられ、区としてこれを支援・強化する必要がある。



- ✓ 人口は令和18年の30.5万人をピークに減 少する見込みである。
- ✓ また、少子高齢化が進展し30年以内に高齢者率は25%となる見込みであり、こうした人口構造への変化への対応が求められる。